

栽培自動化技術パッケージ開発の勉強会

研究代表者（所属）：福田弘和（大阪公大・工学研究科）

メタバース植物工場に向けた学術的考察

○福田弘和¹

所属： 1 大阪公大・工学研究科

キーワード：シミュレーション、デジタルツイン、ロボット、VR

要 旨

仮想現実・デジタルツインを利用した農業に期待が集まっている。これらの技術は、AI栽培ロボットの動作設計や、ゲームエンジンなどを利用した植物の成長解析や生理代謝のシミュレーション、VR遠隔栽培やメタバース植物工場などの新たな生産方式の基盤として大きな期待を集めている。産業としてのメタバース植物工場の実現はまだ先になると思われるが、アイデアを生み出すコンセプトとして現時点でも大きな価値がある。本発表では、メタバース植物工場の議論を開始するにあたり行った学術的考察を紹介する。